みらい青空学園

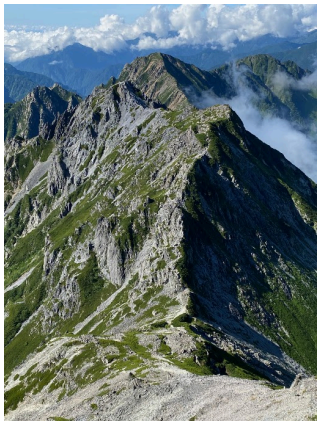
学校だより9月号
令和8年9月1日発行
発行責任者：坂本　司
電話 03-3957-2151(小学部)
03-3957-3133(中学部)

「夏の思い出」　－積み重ねの先の喜びや達成感－

校長　坂本　司

ふとした瞬間、今でも思い出す子供時代の夏の風景はありませんか。早朝のラジオ体操、カブトムシ捕りやザリガニ釣り、祖父母の家で過ごした賑やかな日々、煙が目にしみる手持ち花火、頭がキーンとなるかき氷、夏祭りの屋台の匂い。いつ・どこでのことか細かくは覚えていなくても、胸の奥に温かく残っている不思議で懐かしい記憶です。

長いようであっという間に過ぎ去る夏休み。入学して初めての夏を迎えた１年生から、卒業後の進路選択に向けて準備を進める９年生まで、同じ夏であっても過ごし方や胸に刻む時間の流れはそれぞれ異なります。みらい青空学園の子供たち一人一人にとって、ゆったりと心身を休め、有意義に過ごしたこの夏が、いつか振り返ったときに心に光る素敵な思い出となっていればと願っています。



私自身はこの夏休みに、趣味である山登りに出掛けました。次々に来る台風の影響で天候が定まらない中、その合間を縫って北アルプスの山々をテントで縦走してきました。雄大な自然の美しさに心を打たれる一方で、その厳しさと自身の弱さを痛感させられます。しかし、どんなに高く遠い道のりであっても、歩みを止めずに進めることで必ず目的地に辿り着くことができる。山登りはいつも、私に確かな勇気と前を向く意欲を与えてくれます。

また、この夏はみらい青空学園の北校庭で行われたラジオ体操にも参加しました。早朝よりご準備いただいた地域の皆様、ご参加いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。スタンプが一つ一つ増えていくカードを嬉しそうに見つめる子供たちの表情を眺めながら、私は自分の山登りのことを重ね合わせていました。山頂からの絶景を目にしたとき、重いザックを背負って登った途中の辛さは吹き飛び、「次はどの山に挑戦しようか」と次の目標に心を躍らせます。毎日のスタンプを貯めていく喜びと、一歩一歩の歩みを積み重ねて新たな挑戦に向かう喜び。形は違えど、「日々の積み重ねの先にある喜びや達成感」の本質は同じなのだと実感しました。

みらい青空学園が開校して初めての２学期がスタートしました。子供たちが夏休みに蓄え育んだエネルギーを胸に、学校生活の中で「新たな一歩」を積み重ねながら成長していけるよう、教職員一同、温かく寄り添ってまいります。今学期も本校の教育活動へのご理解ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第1回 音楽祭の開催にあたって　～9つの学年がそろう、はじめてのステージ～

日時　令和8年9月30日(水) 午前の部 9:55～11:45　午後の部 12:55～14:45(小学部:給食あり　中学部:お弁当持参)
会場　練馬区立練馬文化センター 大ホール (練馬区練馬 1-17-3 西武池袋線・都営大江戸線 練馬駅より徒歩5分)

いつも温かいご支援をいただき、ありがとうございます。今年度、本校は小中一貫教育校として新たなスタートを切り、その大きな節目となる「第1回 音楽祭」を9月30日に迎えます。1年生から9年生、そして全学年の保護者の皆様が同じ空間で一つの音楽を共有できるよう、練馬文化センターの大ホールにて開催いたします。

9学年という大きな規模での開催にあたり、会場の規模や円滑な進行、ステージの安全面等の観点から、本年度は歌唱を中心とした発表とさせていただきます。また、中学部につきましては、午後の部に「合唱コンクール」を併せて開催いたします。なお、中学部の部活動指導や大会日程との重複を避け、全校で一丸となって取り組むため、平日開催とさせていただきます。平日のお忙しい時間帯とは存じますが、全児童生徒・教職員が揃って安全に開催するための措置となりますことをご理解いただけますと幸いです。
従来とは異なる新しい試みとなりますが、今年度は「9学年みんなで創り上げる」という新しい一歩に挑戦します。当日は、ステージで輝く児童・生徒一人一人に、会場いっぱいの大きな拍手をいただければ幸いです。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

※詳細につきましては、後日配付いたしますプログラムをご確認ください。



